

学校法人帯広大谷学園未来メッセージ 優秀作品（区分E：高2⇒大2部）

タイトル	
作品形式	作文
在学学校（応募時／現在）	帯広市内高等学校2年／道内大学2年
氏名	N・Y

3年後の未来はどうなっていますか。3年後の私は、ちょうど成人の20歳になっていると思います。自動車免許をとることができ、お酒も飲めるようになると考えるとこれからの3年でできることはたくさん増えると思います。“3年”というのは今の自分にとっては遠い未来のことにように思えます。けれど、きっとすぐ先の未来のことだと心のどかで思っています。

新型コロナウイルスが流行ってから未来の想像をするのが難しくなり、あれしたいな、これしたいな、ここに行きたいな、とやりたいことばかりが積み重なっていく一方です。優柔不断で心配性の私は、進路や就職のことで悩み頭の中がぐちゃぐちゃになっているかもしれません。自分のしたいことがわかなくなって立ち止まってしまうことがあるかもしれません。

高校1年生の時、1年間の間で将来なりたい夢や進みたい進学先がころころと変わりました。高校2年生の今もハッキリとこうしよう、ときめられていない現状です。今の私には未来のことを想像するのが恐く、明日のことを考えるので精一杯です。いつどんな風が変わってしまうか分からない日常に少しの焦りと不安があります。

そんな中で私は「言葉」の力を知りました。自粛期間中、なかなか人に直接会えない日々の中で気持ちが沈んでいた時、メッセージのやり取りや電話で声を聞くだけでなんだか心が満たされたような気持ちになりました。学校が始まり、直接会えるようになると「おはよう」と言えること、その場所がとっても素敵だなと思うようになりました。日常だと思っていたものは当たり前ではないということその時、改めて実感しました。

ずっと先の未来は想像できないけれど、私なりのペースでゆっくりでもいいから前に進んでいけたらいいなと思います。自分の好きな自分になれるように。